

磐田市 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第190号 2020年3月15日 だより



開館時間：午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井315番地

電話：0538-39-3022 FAX：0538-39-3023

E-mail: okegaya-vc@city.iwata.lg.jp



観察小屋の壁の穴 誰があけたか？

桶ヶ谷沼西側にある観察小屋の壁には2年くらい前から穴が4つあいています。どの穴も直径約10cmでほぼ円形です。いったい誰が、何の目的であけた穴でしょう？
未だに犯人ははっきり分かりませんが、鳥類研究家の方に聞いたところ、**アオゲラ**の仕業ではないかという意見でした。



アオゲラはキツツキの仲間で、大きさはハトを一回り小さくしたくらいです。背中が全体的に緑色であることが名前の由来であり特徴です。

キツツキの仲間が木をつつくのにはいくつか理由があります。一つ目は巣を作るためであり、二つ目は木の中の昆虫などを探して食べるためであり、三つ目はなわばりを誇示するために枯木や建物、電柱などを高速でつついて音を出す習性があり、ドラミングといわれます。

桶ヶ谷沼周辺で見られるキツツキの仲間



アオゲラ



アカゲラ



コゲラ

* 万葉集に詠まれた植物 その12 *



かわのへ つばき
河上の つらつら 椿 つらつらに
見れども飽かず 巨勢の春野は

(巻一-56 春日蔵首老)

歌意：川べりに連なって葉の間を点々と咲く椿、つくづく
見ても飽きることがないなあ、巨勢の春の野は

巨勢は現在の奈良県御所市付近。つらつら椿は、花が連なり咲いている椿の花の様子。
関東以南の太平洋側に分布する野生の椿は主に「ヤブツバキ」で、幹は直立して高木となり
日かげで湿った場所を好みます。2~4月、枝先に赤色の花が1個ずつ咲きます。

【参考：万葉植物事典（北隆館）】

桶ヶ谷沼の観察路でも少し目線を上げると、竹やぶや木々の間にヤブツバキの赤い花が咲
いていて、春の訪れを感じさせてくれます。

* 2月のイベント報告 *

冬の昆虫観察会 2月2日(日) 9:30~

「わら巻」の中に集まり住んでいる小動物を観察しました。

「わら巻」は「むしろ」などを夏の間に樹木の幹に巻いておくも
ので、冬の間昆虫やクモなどの小動物が身をかくすため樹皮下
へ潜り込む習性を利用します。

「わら巻」の中にはクモ類、カメムシ類、コウチュウ類に混じ
ってムカデの仲間やゴキブリの幼虫などもあります。



自然とのふれ合いを

※どなたでも参加でき、参加費
は無料です。申し込みは直接
または電話、FAX でビジター
センターへどうぞ

ベッコウトンボ調査会

日程 4月19日(日)と4月29日(水・祝日)
9:30~11:30 (受付9:00~)

場所 桶ヶ谷沼周辺

対象 一般 (小学生以下は保護者同伴で)

内容 トンボの見分け方やベッコウトンボの説明を受けたあと、桶ヶ谷沼の
周辺でベッコウトンボの個体数調査をします

服装・持ち物 帽子、野外活動ができる服装、水筒、メモ用紙など

**** みなさんのご参加をお待ちしています ****

